



静かなる脅威 CRE 感染症！

感染症発生動向速報

(令和元年第 19 週分・5 月 6 日～5 月 12 日)

《 インフォメーション 》

●カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の全国の報告数は、例年 1,600 例前後で推移していましたが、2018 年は 2,289 例に増加しました。県内では、10~21 例で推移しています(表参照)。今のところ、大きな院内感染事例の報告はありません。

薬剤耐性菌による感染症の 1 つである CRE 感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称です。

海外の多くの国で CRE が増加し、世界的な拡大が懸念されています。日本では 2014 年 9 月に 5 類全数把握疾患に追加されました。CRE 感染症は、主に免疫機能の低下した患者、外科手術後の患者、抗菌薬を長期間使用している患者などに多く、65 歳以上の成人が 8 割を占めています。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や軟部組織の感染症、カテーテルなどの医療器具関連血流感染症など、様々な感染症を起こし、しばしば院内感染の原因になります。また、無症状で腸管等に保菌されることもあります。健康な人では CRE 感染症を過度に心配する必要はありません。

海外では、国内とは異なるタイプのカルバペネム分解酵素を産生する CRE が多く報告されています。その他、それぞれの地域で流行している様々な病原体に感染する可能性があります。帰国後、体調不良で医療機関を受診する際には、海外に出かけていたことを医師に伝えましょう。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1 件 (60 歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1 件 (40 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 後天性免疫不全症候群 1 件 (第 17 週診断分：50 歳代、女性、A I D S)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件 (①60 歳代、男性 ②80 歳代、男性)
- 梅毒 2 件 (①第 17 週診断分：20 歳代、女性、無症候
②20 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)
- 百日咳 4 件 (①第 18 週診断分：10 歳未満、男性 ②10 歳未満、女性
③④ともに 10 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	6.45 (↑)	1.72
2 位	伝染性紅斑	1.83 (↑)	0.38
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.76 (↑)	0.34
4 位	咽頭結膜熱	0.79 (↑)	0.21
5 位	インフルエンザ	0.63 (↑)	0.38
6 位	流行性角結膜炎	0.57 (↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

令和元年 5 月 15 日

富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)

(0766-56-8142 細菌部)

(0766-56-8143 ウイルス部)

CRE 感染症報告数

年	全国	富山県
2014 ^{※1}	314	5
2015	1,669	21
2016	1,573	14
2017	1,660	10
2018	2,289	19
2019 ^{※2}	613	2

※1:2014/9/19 から集計開始

※2:全国 5/5 時点、富山県 5/12 時点 速報値

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第19週 令和元年5月6日～令和元年5月12日）

分類	疾患	今週報告分（第19週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	5	3	12	15	20	55
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1		4	6
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							1					1
	レジオネラ症				1		1			5	3	8	16
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1	1		2
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	1	1	4
	後天性免疫不全症候群											3	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2		3
	侵襲性肺炎球菌感染症			1		1	2			6	7	5	18
	水痘（入院例）											2	2
	梅毒			1			1			2	1	9	12
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳		1			2	3		4			12	16
	風しん								1			2	3
	麻しん										1	2	3
	定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	9	1	5	6	9	30	1,422	909	3,109	1,680	3,599
		1.29	0.20	0.38	0.86	0.56	0.63						
RSウイルス感染症				1	1	1	3	10	19	47	5	61	142
				0.13	0.25	0.10	0.10						
咽頭結膜熱		7		14		2	23	86	14	155	22	93	370
		1.75		1.75		0.20	0.79						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	5	17	6	21	51	71	73	351	154	630	1,279
		0.50	1.67	2.13	1.50	2.10	1.76						
感染性胃腸炎		28	34	40	20	65	187	590	410	695	287	1,712	3,694
		7.00	11.33	5.00	5.00	6.50	6.45						
水痘			2			14	16	15	10	24	11	134	194
			0.67			1.40	0.55						
手足口病			3			1	4	15	10	10	3	77	115
			1.00			0.10	0.14						
伝染性紅斑		5	2	30	1	15	53	42	13	248	69	123	495
		1.25	0.67	3.75	0.25	1.50	1.83						
突発性発しん		1	2	6	2	3	14	16	22	67	18	67	190
		0.25	0.67	0.75	0.50	0.30	0.48						
ヘルパンギーナ		2					2	51		3	1		55
		0.50					0.07						
流行性耳下腺炎								1	3	5	1	14	24
急性出血性結膜炎											9		9
流行性角結膜炎			2	1	1	4	1	4	21	16	3	45	
			1.00	1.00	0.50	0.57							
細菌性髄膜炎											3	3	
無菌性髄膜炎							1					1	
マイコプラズマ肺炎								2	1			3	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1					1	1		7	6		14	
	1.00					0.20							
インフルエンザによる入院患者（*）							41	42	52	96	96	327	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週（9月3日）～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

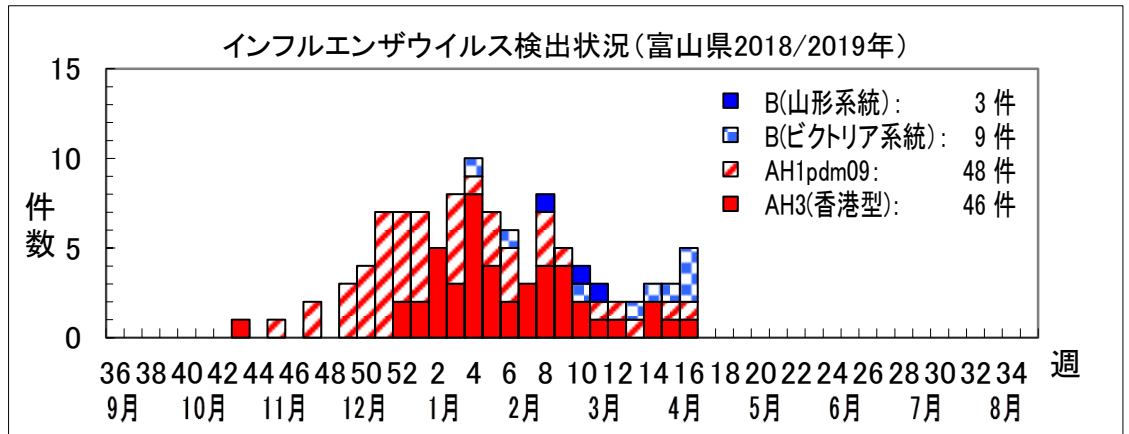
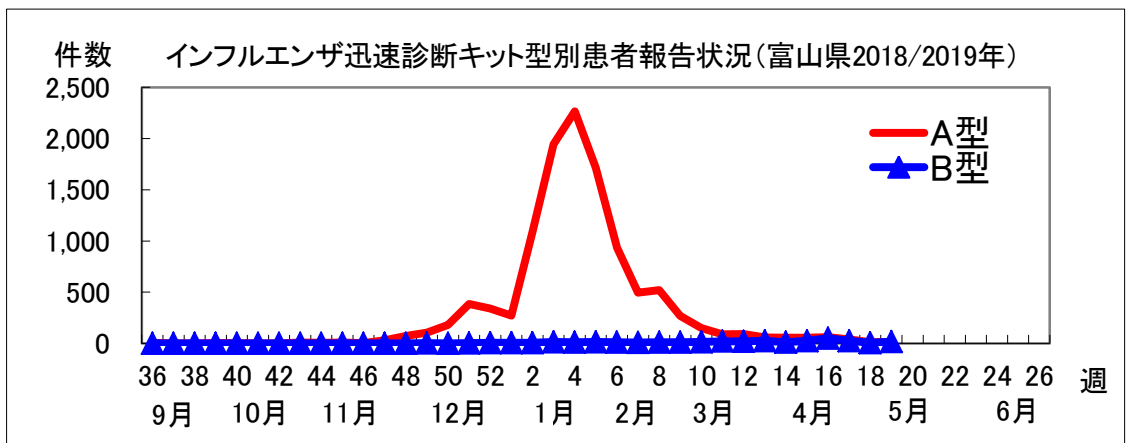
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が43.3%、B型が53.3%となっています。

第19週(5/6～5/12)：富山県 0.63人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	3	6	0	9
中部	1 / 5	1	0	0	1
高岡	4 / 13	1	4	0	5
砺波	3 / 7	2	4	0	6
富山市	4 / 16	6	2	1	9
富山県	16 / 48 ^{※1}	13	16	1	30
富山県累計(2018年36週～)		11,286	316	306	11,908

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が16か所あったことを示します。
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



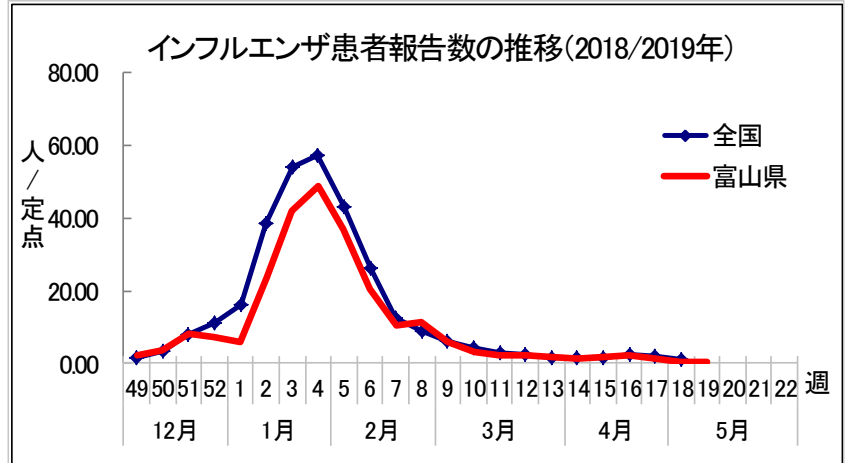


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第19週 (5/6~5/12) : 富山県 0.63 人/定点

新川 HC (1.29)、中部 HC (0.20)、高岡 HC (0.38)、砺波 HC (0.86)、富山市 HC (0.56)

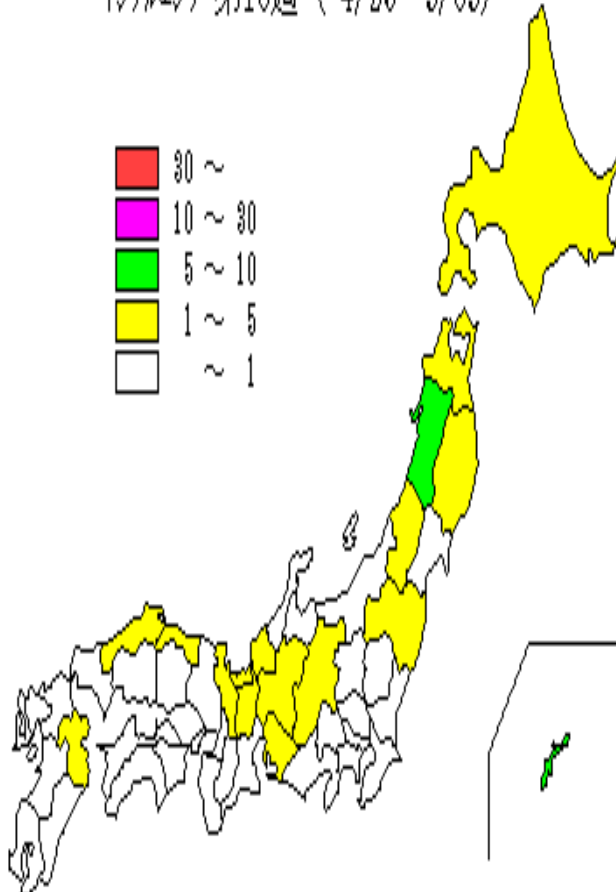
県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあり、終息に向かっていると思われます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第18週 (4/29~5/5)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.02 人となり、前週の 2.18 人より減少しました。6 県で前週より増加しています。41 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第18週 (4/29- 5/05)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.75	滋賀県	1.67
青森県	1.75	京都府	1.08
岩手県	2.77	大阪府	0.88
宮城県	0.74	兵庫県	0.49
秋田県	6.38	奈良県	0.18
山形県	1.31	和歌山県	0.16
福島県	3.08	鳥取県	1.55
茨城県	0.89	島根県	1.39
栃木県	0.67	岡山県	0.80
群馬県	0.75	広島県	0.96
埼玉県	0.92	山口県	0.42
千葉県	0.67	徳島県	0.76
東京都	0.68	香川県	0.26
神奈川県	0.47	愛媛県	0.62
新潟県	0.53	高知県	0.44
富山県	0.38	福岡県	0.60
石川県	0.85	佐賀県	0.41
福井県	1.49	長崎県	0.90
山梨県	0.46	熊本県	0.52
長野県	1.33	大分県	1.26
岐阜県	1.56	宮崎県	0.47
静岡県	0.62	鹿児島県	0.41
愛知県	1.29	沖縄県	7.83
三重県	0.61	全国	1.02

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年4月分）

		4月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1			6	7	2	1	3		29	35
			1.00			1.50	0.70						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症			1	1	5	7		2	7	3	12	24
				0.33	1.00	1.25	0.70						
	尖圭コンジローマ			1		1	2			4		7	11
				0.33		0.25	0.20						
	淋菌感染症			1		2	3	2		2		9	13
				0.33		0.50	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	2	5	5	15	2	8	9	8	23	50
		1.00	2.00	2.00	5.00	5.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1	2	2	5	1		9	5	3	18
				1.00	2.00	2.00	1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。